

第5回目のGIS News! です

暦上はもう春になりましたが、まだまだ寒い今日この頃です。体調には十分に気を付けたいものですね。

さて、5回目となりました今回は『基図』について説明していきたいと思います。最後までよろしくお付き合いください。

『基図』ってなに？

GISを構築する際にコンピューターへ、現況地形データ（簡単に言えば地図）を取り込む必要があります。このデータのことを一般に『基図』と言います。基図は、既存の紙地図や市販のデジタル地図から作成することになります。

基図選択の基準

基図を作成する際に様々な既存地図を準備できるのであれば、必要な情報が網羅されているか、必要な精度を満たしているか、必要な新鮮さがあるか、などを考慮して基図を選択します。

市販のデジタル地図を利用することができれば何かと都合はよいのですが、意に添うものがない場合には紙地図などから作成する必要があります。

デジタル地図の縮尺

デジタル地図の縮尺は、精度を表しています。ほとんどのデジタル地図は、紙地図や航空写真・衛星写真などから作成されていますが、作成もとの地図が持つ精度以上になることはありません。

デジタルのデータですので紙地図とは違い、自由に表示縮尺を変えることは可能ですが、表示縮尺にかかわらず精度は一定です。

基図に求められる精度

精度が高い基図でGISを構築できればよいのですが、例えば 1/500 で全域をカバーすることは容易なことではありません。利用する目的に合わせ必要な精度を求め、そこから基図を選択していくことが賢明な方法と言えます。

次回のGIS News!

次回は3月12日発行予定です。よろしくおつき合い下さい！

編集：協同組合山形県地理情報センター 久松 発行日：2001年2月13日

Geographic Information System

